

佐生修郎(さしゅう・しゅろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスをを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

大谷翔平 大変だ、大変だ、今月末に一郎先輩がインドネシアに出張に来ると言ってきた。本社の社長と一緒にだつて。

佐生修郎 おおっ、翔平君の前任の一郎君かあ。出世したのだね。再会が楽しみだ。

大谷 VOA到着ビザで入国して良いのかなあ。コロナ禍以前はVOA到着ビザで「会議商談」ができたはずだけど。

佐生 残念ながらVOA到着ビザは今も「観光」目的のみ有効だ。ビジネス目的では使えない。(2022年9月6日現在)

大谷 それじゃあ、211シングルビジネスビザを申請取得するしかないね。ビザ発行が間に合うかなあ。

佐生 イミグレ総局のシステムVISAS ONLINEへ申請を投入してからeVISAが発行されるまで、8営業日が標準所要時間だ。

エクスプレス処理をすれば3営業日にも短縮できる。申請書類さえすぐに揃えれば大丈夫、今月末の入国には間に合う。

大谷 ぞれなら申請書類の準備を急がなきゃ。何が必要なの？

# 修郎先生の事件簿2

小池雄一氏

～就労ビザ専門会社の現場から～

## 一郎先輩が出張に来る?!

佐生 (1) パスポートコピー、(2) 航空チケット予約票、(3) 活動計画表(4) 検疫プロトコルを遵守する旨の宣言書、(5) 海外旅行者保険証、(6) ワクチン接種証明証、(7) 証明写真、(8) スポンサー企業の銀行口座残高証明書。

大谷 全ての書面は英文記載が必要。そしてオリジナルは不要だけど、カラーのPDFもしくはJPEG形式のデジタルデータで提出する。

佐生 さすがは翔平君、一郎君からの引継ぎがバツチリだね。でも、社長さんはAPPECカードを持っていないのではないかな? APPECカードがあればビジネスビザを申請する必要はないぞ。APPECカードで入国ができる。

大谷 「ビザ発給制限」はまだまだ厳しいけど、インドネシア入国時の「検疫措置」はだいぶ緩和されたよね。

佐生 スカルノハッタ空港第3ターミナルでの検疫措置の現場運用では、ワクチン接種証明証(2回以上)さえあれば大丈夫。日本出国前のPCR検査陰性証明書は不要になっている。空港内の検疫担当官もプロシージャに慣れてきているし、想像以上にスムーズに検疫は通過できるはずだ。

大谷 あとは日本への帰国時の心配だけだね。

佐生 それも翔平君たちにとつて幸運なことがあった。7日から日本側の水際対策措置が緩和されたのだよ。これでインドネシアへの出張が更にし易くなったと言える。

大谷 インドネシア出国前のPCR検査が不要になったとか?

佐生 その通りだ。但し、日本で認定されている

### 佐生修郎 心得の条

一 インドネシア側の空港検疫措置の緩和のみならず、日本側の水際対策措置の緩和でインドネシア渡航がよりし易くなった。思いつきビジネスに勤しむこと。

二 「検疫措置」はどんどん緩和になっているが、「ビザ発給制限」は依然としてある。この事を認識して目的に合ったビザ取得を心掛ける事。

ワクチンを3回接種していることが条件だ。  
大谷 社長はブースター接種済みだと聞いているよ。一郎先輩はインドネシア滞在中に中国製を一回、日本に本帰国してからファイザーを2回。そうすると、インドネシア滞在中に打ったものは日本で認定されていないから2回接種済みということになるね。  
佐生 そう。社長さんはインドネシア出国前PCR検査は不要。一郎君は出国前72時間以内の検体採取でPCR検査をして陰性証明書を取得しなければならぬ。

大谷 陰性かどうかドキするのだよね、これが。  
佐生 一郎君は大丈夫だよ。陽性で出国できなかったら、社長さんだけ日本に送り返して、独りインドネシアで休暇を楽しんでいくのじゃないの?  
こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタツフへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。56歳。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

「修郎先生の事件簿2」は、原則、毎月第1水曜日に掲載します。